



News letter

第90号 | 令和3年
5月20日

(一社)日本精神保健看護学会事務局：〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 9F
TEL:03-6267-4550 FAX:03-6267-4555 E-mail:maf-japmhn@mynavi.jp HP:http://www.japmhn.jp

一般社団法人日本精神保健看護学会 第31回学術集会開催にむけて

第31回学術集会会長 安 保 寛 明
(山形県立保健医療大学)

日本精神保健看護学会第31回学術集会の開催に際して、ご挨拶申し上げます。本学術集会は、新型コロナウイルスへの対策のためにオンライン開催となります。本学会の会員の方々も、日頃より感染対策に直接および間接的に関わりながら、社会の変容への対応に力を注いでいる方々ばかりであると拝察しております。そのような時節にも、学術集会に関心をもってくださり、時間や経験を共有する予定にある皆様方へ心より感謝と歓迎を申し上げます。

本学術集会には、100の一般演題、26のワークショップが発表および実施される予定です。今学術集会では、一般演題の発表に会員と非会員の方による共同での発表ができるような枠組みをつくりました。ぜひ、一般演題にもご関心をお寄せいただき、このような時節にも発表にむけて準備くださった方々との交流を深めていただければ幸いです。

本学術集会では、教育講演や国際連携講演なども含めほとんどの主要企画に対話の時間を設けています。演者と座長、演者同士、参加者の皆様との対話など、対話のプロセスが存在する事での意味と意義をもたらすことを期待したものです。ぜひ、会期中にもインターネット回線を通じてご参加いただき、対話のプロセスにも参加していただければ幸いです。

学術集会は、学を通じて人が集う場と考えて、企画委員一同とともに準備してまいりました。このような機会を下さっている皆様に改めて感謝申し上げ、共創造の機会を楽しみに配信会場にてお待ちしております。

第31回学術集会・総会のご案内

開催時期・参加受付

1) 開催時期

ライブ開催期間 2021年6月5日(土)、6日(日)
オンデマンド閲覧期間：5月25日(火)～6月25日(金)

2) 受付方法(5月12日以降に申し込まれた方)

下記の内容で学術集会 WEB サイトより参加登録を行うことが可能です。

- 参加費：会員 8,000円
非会員 10,000円
学生 3,000円(大学院生は除きます)
当事者・家族 2,000円
- 参加登録期間：6月18日(金)まで
- ID、パスワードの発行に入金確認から3営業日程度の時間がかかります。
できるだけお早めに参加登録をお願いいたします。
- ライブ開催への参加と、オンデマンド閲覧に必要なパスワードは紛失しないようにしてください。また、第三者への情報漏洩にご注意下さい。

オンライン開催実施要項(一部抜粋)

- 本学術集会はオンライン開催となり、ライブ配信とオンデマンド閲覧となる配信の2つ方法となります。

1) ライブ配信期間：6月5日(土)・6月6日(日)

- ライブ開催期間は Zoom Meeting と Zoom Webinar を使用しますので、Zoom のインストールをお願いいたします。また、ライブ配信期間中に PC の更新作業などが開始されますと、配信が途切れるため、事前に済ませていただくよう、お願いいたします。
 - ①大会事務局から特設 WEB サイトへ入場するための ID とパスワードを事前に発行いたします。こちらを使用して、大会 WEB サイトにあります特設 WEB サイトのバナーをクリックして特設 WEB サイトへ入場してください。
 - ②学術集会特設 WEB サイト内にライブ配信の各会場のバナーがありますので、視聴する会場のバナーをクリックしてください。
 - ③参加登録に使用したメールアドレスを入力し、参加可能となります。

2) オンデマンド閲覧可能期間：5月25日(火)～6月25日(金)まで

- 特設 WEB サイトに入場できる ID とパスワードを発行します。
- 発行された ID・パスワードを使用し、特設 WEB サイトへお進みください。

3) オンライン配信への留意事項

- 学術集会 WEB サイト及びライブ配信に掲載されている全てのコンテンツ（スライド、画像、動画など）の無断撮影、録音、閲覧端末のスクリーンショット機能等を用いた記録や写真撮影、ダウンロード、他サイト（SNS を含む）への転載等は、固く禁止します。
- 第三者への参加 ID ・パスワードの譲渡 ・共有はご遠慮ください。1 つの参加登録 ID でご参加頂けるのは参加申し込み者 1 名のみです。必ずお一人ずつ事前参加登録をお済ませください。

一般演題、ワークショップなどの詳細の参加方法は、参加登録者に配布されるプログラム集をご覧くださいませようお願いいたします。

学会総会について

- 6月5日（土）17：10～オンラインにて学会総会を行います。
- 第1会場にサインインしていただき、ご出席ください。

問い合わせ先

参加登録に関するお問い合わせ

運営事務局 / 株式会社日本旅行東北山形支店（担当：芦野）

〒990-0039 山形市香澄町2丁目2-36 山形センタービル1階

TEL 023-631-2295（代表） FAX 023-631-2297

その他特設 WEB サイトに関することや、各種お問い合わせ

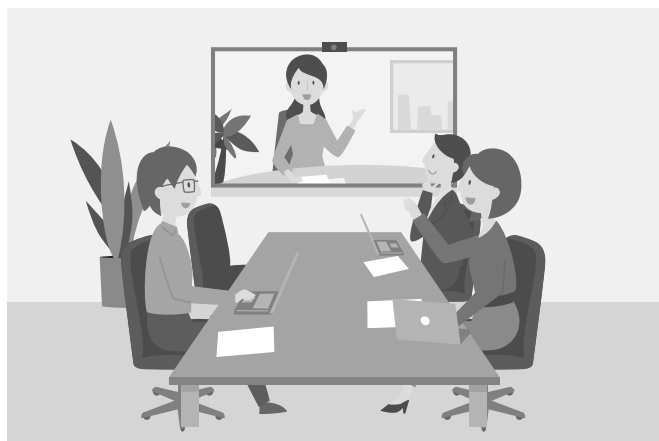
学術集会事務局 / 山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科（担当：高谷、安保）

〒990-2212 山形市上柳260

TEL 023-686-6611（代表） FAX 023-686-6736

MAIL : information01@japmhn31st.com

※できるだけ、電子メールでのお問い合わせにご協力ください。



メインプログラム

第1日目 6月5日(土)

9:30～

第1会場

開会式

9:40～10:10

第1会場

学術集会会長講演

精神保健の時代をひらく共創造

演者 安保 寛明 山形県立保健医療大学
 座長 萱間 真美 聖路加国際大学

10:10～11:40

第1会場

大会企画①

COVID-19における支援システムの共創造

—臨床現場と教育・研究の視点から支援の多層性を考える—

演者 菅野 幸子 仙台市立病院精神科病棟看護師長
 高橋 葉子 みやぎ県南中核病院、山形県立保健医療大学
 野末 聖香 慶應義塾大学
 座長 安保 寛明 山形県立保健医療大学

13:30～14:50

第1会場

学会シンポジウム

新型コロナウイルス流行期における障害福祉サービスに従事する人のための心理社会的支援 厚生労働委託事業から学んだこと

座長 萱間 真美 聖路加国際大学
 演者 武用 百子 大阪大学
 安保 寛明 山形県立保健医療大学
 岡田 佳詠 国際医療福祉大学
 宇佐美しおり 四天王寺大学

17:10～

第1会場

学会総会

18:00～19:00 講演

19:00～20:00 対談

第1会場

国際連携講演

イタリアの精神保健と看護における協働性—日本の精神保健看護との協働への期待—

演者 Angelo Fiolitti エミリア・ロマーニャ州立ボローニャ地域保健連合機構
精神保健—依存症局長

Ivone Donegani エミリア・ロマーニャ州立ボローニャ地域保健連合機構
精神保健—依存症局前局長

Mariliana Sacco ボローニャ地域保健連合機構精神保健局サン・ジョバンニ・
イン・ペルシチエート精神保健センターコーディネーター責任者

座長 永井 優子 自治医科大学

第2日目 6月6日(日)

8:30～9:40

第2会場

教育講演1

対話と承認のケア～ナラティブがケアになるとき

演者 宮坂 道夫 新潟大学

座長 森 真喜子 国立看護大学校

9:40～10:50

第2会場

教育講演2

共同創造のうまれる場

演者 宮本 有紀 東京大学

座長 千葉 理恵 神戸大学

11:00～11:45

第1会場

教育講演演者と語ろう(ライブ配信)

演者 宮坂 道夫 新潟大学大学院医学系研究科

宮本 有紀 東京大学

座長 森 真喜子 国立看護大学校

千葉 理恵 神戸大学

9:10～10:40

第1会場

大会企画②(ライブ配信あり)

東日本大震災からの共創造：相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会“なごみ”の歩み
コーディネーター

大川 貴子 福島県立医科大学、認定 NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会

9:10～10:10 映像配信

「相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会“なごみ”の今までとこれから」

10:10～10:40 対談

「東日本大震災から10年を経て一どのような繋がりから何が生み出されていくのかー」

司会 大川 貴子 福島県立医科大学、認定 NPO 法人相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会

対談 大熊 恵子 宮城大学

岡本 典子 常葉大学

高橋 葉子 みやぎ県南中核病院、山形県立保健医療大学

安保 寛明 山形県立保健医療大学

13:10～15:20

第1会場

市民公開講座（ライブ配信あり）

講演 不登校・ひきこもり状態にある人とその家族への支援

演者 船越 明子 神戸市看護大学

座長 大熊 恵子 宮城大学看護学群

フォーラム 「不登校・ひきこもりの経験者と家族のための場づくり」

演者 ヨン ロザリン 秋田大学、光希屋（家）代表

樋口 愛子 クローバーの会 @ やまがた代表

伊藤 正俊 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会代表

15:30～16:30

第1会場

学会30周年記念企画

対談 精神看護を語る～精神看護の未来を見据えて～

対談 阿保 順子 学会名誉会員

寺岡征太郎 和洋女子大学

座長 萱間 真美 聖路加国際大学

16:40～

第1会場

閉会式

共催セミナー

6月5日(土) 12:00～13:00

第1会場

大日本住友製薬会社

統合失調症治療におけるロナセンテープの位置づけ ～急性期治療での可能性とチーム医療の実践～

講師 福島 端 あさひの丘病院 院長
丸屋めぐみ あさひの丘病院 看護部長
座長 萱間 真美 聖路加国際大学 教授

6月5日(土) 12:00～13:00

第2会場

一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情報センター

送電線の電磁波って危ないの？－WHOの見解を紹介します－

講師 大久保千代次 一般財団法人電気安全環境研究所電磁界情報センター 所長

6月6日(日) 12:00～13:00

第1会場

株式会社ナガセ

国語力低下の原因と対策 ー国語カリキュラム周辺から考察するー

講師 麻柄 真治 株式会社ナガセ 上級執行役員、ビジネススクール本部 本部長
兼大学事業部長

6月6日(土) 12:00～13:00

第2会場

株式会社中島映像教材出版

「Re:ベリーオーディナリーピープル」の「Re:」がつく訳は？

講師 相川 章子 聖学院大学 教授

オンデマンド閲覧

ファイザー株式会社

「多様な当事者団体による共創造 ～VHO-net20年の成果」

講師 松下 年子 横浜市立大学医学研究科看護学専攻・医学部看護学科 教授
喜島智香子 ファイザー株式会社コミュニティ・リレーション部 部長
増田 一世 公益社団法人やどかりの里 理事長

ワークショップ

第1日目 6月5日(土)

16:00～17:00

各 ZoomMeeting 会場

WS1～6

WS 1 地域在住で糖尿病を合併する精神障害者に対する包括的支援のあり方

○浅沼 瞳^{1,8}、中村 博文^{2,8}、綿谷 恵子^{3,8}、田井 雅子^{4,8}、則村 良^{5,8}、畠山 卓也^{6,8}、森 千鶴^{7,8}、
餘目 千史^{9,11}、村田 中^{10,11}

¹ 昭和大学保健医療学部看護学科、² 茨城県立医療大学保健医療学部、³ 筑波大学附属病院看護部、⁴ 高知県立大学看護学部、⁵ 医療法人財団青溪会駒木野病院看護部、⁶ 学校法人駒澤学園駒沢女子大学、⁷ 東京医療学院大学、⁸ 日本精神保健看護学会学術連携委員会、⁹ 日本赤十字北海道看護大学、¹⁰ 武蔵野赤十字病院、¹¹ 日本糖尿病教育・看護学会

WS 2 Strength-based nursing care への誘い

○白石 裕子¹、齋藤 嘉宏²、吉永 尚紀³、田上 博喜³、加藤 紗弥佳⁴、林 佑太⁵、國方 弘子⁶、
谷 多江子⁷

¹ 国際医療福祉大学福岡看護学部、² 西九州大学看護学科、³ 宮崎大学医学部看護学科、⁴ 宮崎大学医学部医療人育成支援センター、⁵ 神戸大学大学院保健学研究科看護学領域、⁶ 香川県立保健医療大学、⁷ 聖マリア学院大学

WS 3 地域包括ケアの実現に向けて CNS による外来での看護相談・看護面接の取り組みと課題

○三井 督子¹、石田 正人²、高橋 寛光³、小野 悟⁴、田代 誠⁵

¹ 医療法人財団光明会明石こころのホスピタル、² 神奈川県立精神医療センター、³ 東京都立松沢病院、⁴ 岐阜保健大学看護学部看護学科、⁵ 神奈川工科大学

WS 4 長期入院患者の退院支援と地域移行期のサポート体制の構築について考える

○大竹 眞裕美¹、馬場 香織¹、明間 正人²

¹ 社会医療法人一陽会一陽会病院、² 医療法人昨雲会飯塚病院

WS 5 心のケアに携わる看護職・メディカルを対象とした哲学カフェの実践と意味の探求

○心光 世津子¹、坂本 岳之²、中岡 成文³、紀平 知樹⁴、三浦 隆宏⁵

¹ 愛知医科大学看護学部、² メディカル BECS、³ 一般社団法人哲学相談おんころ、⁴ 兵庫県立大学看護学部、⁵ 椋山女学園大学人間関係学部

WS 6 入院から退院まで、患者さんと一緒にステップアップしよう！—患者さんのセルフモニタリングと対処行動獲得に向けた「退院支援マップ」の取り組み—

鈴木 美央^{1,2}、菅谷 晶子¹、浅川 理恵¹、尾山 理紗¹、浪久 悠³、○川越 大輔¹

¹ 国立国際医療研究センター国府台病院、² 千葉大学大学院看護学研究院、³ 国立病院機構久里浜医療センター

18:00～19:00

各 ZoomMeeting 会場

WS7～13

- WS 7 自己決定能力向上への働きかけを学ぶ実習方法の考察 ―活用可能性の検討―
○大川 嶺子、仲本 勉、上里 さとみ
沖縄県立看護大学
- WS 8 みんなに知ってほしい!「ともに創りともに学ぶ」を叶えるリカバリー・カレッジで私たちが大切にしていること ～立ち上げ方、続け方、在り方～
○増満 誠^{1,2}、松枝 美智子^{2,3}、中本 亮^{1,2}、恵良 友彦^{2,4}、脇崎 裕子⁵、猪狩 崇¹、宮崎 初^{2,6}、青木 裕史⁷、青木 典子⁷、谷口 研一郎^{7,9}、津野 稔一⁸、藤本 裕二^{7,11}、安藤 愛¹¹、中島 充代^{2,12}、大場 裕司^{1,2,13}、江頭 薫^{1,2,14}、中山 アツ子^{1,2,15}
¹ 福岡県立大学看護学部・大学院看護学研究科、² 九州・沖縄高度実践看護師活動促進協議会、³ 星槎大学大学院教育学研究科、⁴ 日本赤十字広島看護大学看護学部、⁵ 西九州大学看護学部、⁶ 第一薬科大学看護学部、⁷ らしさ SAGA、⁸ NPO 法人久留米出逢いの会オープンスペースゆるか、⁹ さが恵比寿メンタルくりにつく、¹⁰ 佐賀大学医学部看護学科、¹¹ 西南女学院大学保健福祉学部看護学科、¹² 福岡大学医学部看護学科、¹³ 株式会社麻生飯塚病院、¹⁴ みなかぜ病院、¹⁵ 肥前精神医療センター
- WS 9 オンラインによる家族心理教育の実践 ―コロナウイルス感染症流行期でも、孤立しない支援―
○前田 愛¹、橘 聡子¹、池ヶ谷 訓章¹、山本 和弘²、豊嶋 摩古、常岡 俊昭³
¹ 昭和大学附属烏山病院、² 昭和大学横浜市北部病院総合サポートセンター、³ 昭和大学医学部精神医学講座
- WS10 地域生活上のメンタルヘルスに対応するダイアログ ～オープンダイアログを基にしたアプローチ～
○相澤 和美¹、藤澤 希美²、川口 敬之³、松井 洋子⁴、杉山 悠⁵
¹ 国際医療福祉大学大学院、² 国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科、³ 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所地域・司法精神医療研究部、⁴ 訪問看護ステーションみのり横浜、⁵ 訪問看護ステーション KAZOC
- WS11 精神科事例検討とリフレクティング ―「きく」ことは「はなす」こと―
○西池 絵衣子¹、末安 民生²、竹林 令子³
¹ 兵庫県立大学看護学部、² 佛教大学保健医療技術学部、³ 杏林大学保健学部
- WS12 死別体験をした子どもへの支援 ～こころに折り合いをつけていくプロセスをどのように見守り、支えていくのか～
○佐藤 利憲¹、佐々木 竹美²、高山 絵美²
¹ 福島県立医科大学看護学部、² 順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院
- WS13 コロナ禍、そしてこれからの精神看護学実習を考える ～看護系大学で実習を担当する若手教員の困難をきっかけに
○大河内 敦子^{1,2}
¹ 帝京大学医療技術学部看護学科、² 昭和大学大学院保健医療学研究科

第2日目 6月6日(日)

13:10～14:10

各 ZoomMeeting 会場

WS14～20

WS14 精神科臨床における看護外来の可能性

○則村 良^{1,8}、森 千鶴^{2,8}、浅沼 瞳^{3,8}、田井 雅子^{4,8}、畠山 卓也^{5,8}、中村 博文^{6,8}、綿谷 恵子^{7,8}

¹ 医療法人財団青溪会駒木野病院看護部、² 東京医療学院大学、³ 昭和大学保健医療学部看護学科、⁴ 高知県立大学看護学部、⁵ 学校法人駒澤学園駒沢女子大学、⁶ 茨城県立医療大学、⁷ 筑波大学附属病院看護部、⁸ 日本精神保健看護学会学術連携委員会

WS15 精神力動の視点で事例を読み解く！事例検討会のすゝめ ～衝動コントロールを支援する看護ケア～

○小林 信^{1,4}、服部 克彦²、神澤 尚利^{1,5}、寺岡 征太郎^{3,5}、葛島 慎吾⁶、寺田 美樹¹、須藤 公裕^{5,7}、本武 敏弘⁸、田上 美千佳⁹、細谷 真由^{5,10}

¹ 東京医科大学医学部看護学科、² 医療法人財団青溪会駒木野病院、³ 和洋女子大学看護学部看護学科、⁴ 精神看護ケア検討会代表、⁵ 精神看護ケア検討会事務局、⁶ 宮崎県立看護大学看護学部看護学科、⁷ 笑む笑む訪問看護ステーション、⁸ 社会医療法人芳和会菊陽病院、⁹ 千葉大学大学院看護学研究科、¹⁰ 医療法人社団碧水会長谷川病院

WS16 精神看護の専門性を問い直す

○近田 真美子¹、阿保 順子²、福山 敦子^{3,4}、安里 順子⁵、森野 貴輝⁶、小村 絹恵⁷

¹ 福井医療大学、² NPO 法人こころ理事長、³ 特定非営利活動法人ハートフル、⁴ 訪問看護ステーション聲、⁵ 元ねこので訪問看護ステーション、⁶ 元長野県立看護大学、⁷ 一般社団法人イケダ大学

WS17 家族まるごと支援で、家族間コミュニケーションが円滑に！メリデン版訪問家族支援を体験しよう

○進 あすか¹、木下 将太郎¹、小瀬古 伸幸¹、小松 容子²、吉野 賀寿美³

¹ 訪問看護ステーションみのり、² 公立大学法人宮城大学、³ 医療法人社団五稜会病院

WS18 看護におけるマインドフルネスの活用

○立石 彩美¹、根本 友見²、重田 ちさと¹

¹ 順天堂医療看護学部精神看護学、² 国際医療福祉大学成田看護学部看護学科

WS19 看護だからこそできる摂食障害患者への支援とは ～食事の見守りから始める看護～

○吾妻 陽子¹、小原 未央²、安保 淳子²、重盛 泉³、森本 松子³、加藤 郁子¹

¹ 福島県立医科大学看護学部、² 福島県立医科大学附属病院、³ 医療法人社団翠会八幡厚生病院

WS20 WRAP を通したつながりの共創造～支援者・当事者・次世代の立場からの語り～

○杉山 悠¹、深田 尚子²、鈴木 夏奈³、浅井 陵¹

¹ 訪問看護ステーション KAZOC、² 医療法人積仁会岡部病院、³ フレンズ WRAP

14:20～15:20

各 ZoomMeeting 会場

WS21～26

WS21 地域生活者への認知行動療法に対するスーパービジョンの実際

○岡田 佳詠¹、中野 真樹子²、富樫 剛清²、天野 敏江¹

¹ 国際医療福祉大学成田看護学部看護学科、² 合同会社エムエム IMS 笑む笑む訪問看護ステーション

WS22 精神科長期入院患者の地域移行に向けた、当事者、ゼネラリスト、高度実践看護師の協働

○松枝 美智子¹、増満 誠²、中島 充代³、恵良 友彦⁴、後藤 優子⁵、津野 稔一⁶、矢治 亜樹子

7、安藤 愛⁸、中本 亮²、脇崎 裕子⁹、宮崎 初¹⁰、清田由起子¹¹、堤 一樹¹²、入江 正光¹³、山本智之¹⁴、大場 裕司^{2,12}、江頭 薫^{2,15}、中山 アツ子^{2,16}

¹ 星槎大学大学院教育学研究科、² 福岡県立大学看護学部・大学院看護学研究科、³ 福岡大学医学部看護学科、⁴ 日本赤十字広島看護大学、⁵ 医療法人碧水会長谷川病院、⁶ NPO 法人久留米出会いの会オープンスペースゆるか、⁷ 医療法人和光会一本松すすかけ病院、⁸ 西南女学院大学保健福祉学部看護学科、⁹ 西九州大学看護学部、¹⁰ 第一薬科大学看護学部、¹¹ 医療法人翠会八幡厚生病院、¹² (株) 麻生飯塚病院、¹³ (株) フュージョンセノーテ訪問看護ステーション、¹⁴ くおーれ訪問看護ステーション、¹⁵ 医療法人せいわ会みなかぜ病院、¹⁶ 国立病院機構肥前精神医療センター

WS23 感染症流行下におけるこころのセルフケアツール「ハートランドごほうび大全集」作成の取り組み

○松村 麻衣子、長 徹二、門間 太作、江上 剛史、徳山 明広
一般社団法人信貴山病院ハートランドしぎさん

WS24 つながれない苦労を研究する ―支援者が実践するリモートでの当事者研究―

○中村 創¹、高橋 明美²
¹ 株式会社 N・フィールド事業戦略本部広報戦略室、² 医療法人資生会千歳病院

WS25 慈しみ深くなることへの勇気

○岸本 久美子¹、小室 葉月¹、石村 郁夫²
¹ 帝京平成大学ヒューマンケア学部看護学科、² 東京成徳大学応用心理学部

WS26 精神障がい経験をもつ人と専門的知識をもつ人とのリカバリーに向けた共同について考える ～リカバリーカレッジから吹く風～

○藤澤 希美^{1,3}、中山 ちはる^{2,3}、池田 直子^{2,3}、山崎 裕³
¹ 国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科、² 一般社団法人しん、³ リカバリーカレッジ名古屋

一般演題 (口演)

第 1 日目 6 月 5 日 (土)

15:00 ~ 15:50

第 2 会場

第 1 群 児童・思春期

座長：國方 弘子 (香川県立保健医療大学)

01-1 児童精神科における相談行動と倫理的課題への対処

○小川 光江¹、菅谷 智一²、森 千鶴³
¹ 筑波大学大学院人間総合科学研究科看護科学専攻、² 筑波大学医学医療系、³ 東京医療学院大学

01-2 児童思春期外来において地域生活の継続を支援するために求められる看護の役割

○三上 あすか¹、守村 洋²
¹ 札幌市立大学大学院看護学研究科看護学専攻博士前期課程、² 札幌市立大学看護学部

01-3 コロナ禍における高校生の抑うつ傾向に関連する要因

○菅谷 智一¹、根岸 有羽²、森 千鶴³
¹ 筑波大学医学医療系、² 行田総合病院、³ 東京医療学院大学

01-4 統合失調症をもつ子の「就労」に関する親の思いと関わり

○小島 有香、横山 恵子、林 裕栄、森田 牧子
埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科看護学専修

15:00～15:50

第3会場

第2群 精神看護教育

座長：玉木 敦子（神戸女子大学）

- 02-1 看護学生の捉える精神障害者の非言語的表現に対する看護教員の認識と学習支援課程
○高橋 はる¹、岡田 佳詠²
¹ 国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科、² 国際医療福祉大学成田看護学部
- 02-2 オンラインでの精神保健福祉施設実習に対する看護学生の満足度に関連する要因
○岳 こなみ¹、永江 誠治¹、河野 知房²
¹ 長崎大学生命医科学域保健学系、² NPO 法人長崎のぞみ会
- 02-3 精神看護学実習方法の違いと精神医療・精神看護に関する学生の認識
○渡辺 尚子¹、中嶋 秀明¹、中村 博文²、阿部 準子³
¹ 東邦大学健康科学部看護学科、² 茨城県立医療大学保健医療学部看護学科、³ 茨城県立医療大学大学院保健医療科学研究科博士前期課程
- 02-4 コロナ渦における精神看護学実習の千葉県立保健医療大学の実践報告 ―幻聴音声を用いたシミュレーション教育―
○小宮 浩美、加藤 隆子
千葉県立保健医療大学

15:00～15:50

第4会場

第3群 文献レビュー

座長：多喜田 恵子（岐阜保健大学）

- 03-1 強迫症状のある患者に対する看護師の関わりに関する文献検討
○阿部 未波^{1,2}、安保 寛明¹、高谷 新¹
¹ 山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科、² 神奈川県済生会横浜市南部病院
- 03-2 被災者兼支援者のうつ/PTSR 予防介入実践者育成訓練プログラムの開発 ～文献レビューをもとに～
○石飛 マリコ¹、宇佐美 しおり²
¹ 日本赤十字九州国際看護大学看護学部、² 四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センター
- 03-3 精神科救急入院科病棟における看護実践についての文献検討
○栗原 淳子
東京医科歯科大学
- 03-4 わが国の薬物依存症における重複障害に関連する文献レビュー
○渡部 李菜¹、片山 典子²
¹ 湘南医療大学保健医療学部看護学科、² 湘南医療大学大学院保健医療学研究科・保健医療学部看護学科

15:00～15:50

第5会場

第4群 リエゾン・地域

座長：遠藤 淑美（鳥取看護大学）

- 04-1 身体疾患で抑うつ患者に対する PAS セルフケアセラピー（PAS-SCT）の評価に関する研究 ―うつに改善がみられた 10 事例の分析―

○塩田 花奈恵¹、宇佐美 しおり²

¹ 公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院、² 四天王寺大学看護学部・看護実践開発研究センター

04-2 障害者地域自立支援協議会精神保健福祉部会による包括的退院支援を利用した長期入院精神障がい者の社会機能の変化—REHAB および LASMI での検討—

○榎葉 雅人、山本 明弘、早川 博子、岩本 匡史、山添 高道
和歌山県立医科大学保健看護学部

04-3 地域で生活する統合失調症当事者の服薬をめぐる体験 ～当事者の語りから～

○佐々木 晶子
いぶり・ひだか児童家庭支援センターしずく

04-4 在宅看護領域における精神科リエゾン・コンサルテーションシステム開発のためのニーズ調査

○高橋 葉子^{1,2}、阿部 幹佳³、長橋 美栄子³
¹ 山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科、² みやぎ県南中核病院、³ 仙台青葉学院短期大学看護学科

15:00～15:50

第6会場

第5群 うつ・自殺

座長：北野 進（東京都立松沢病院）

05-1 入院患者の自殺に遭遇した精神科看護師の体験

○齊藤 萌子
東京大学医学部附属病院

05-2 自殺未遂患者をケアする救急部門の看護師の構え

○有澤 優¹、田井 雅子²
¹ 高知県立大学大学院看護学研究科、² 高知県立大学看護学部

05-3 うつ状態で実子殺に至った母親を受け持った看護師の感情

○中村 幸恵^{1,2}、長谷川 雅美³
¹ 新潟県立看護大学大学院看護学研究科、² 国立病院機構さいがた医療センター、³ 新潟県立看護大学

05-4 救命救急センターに入院中の自殺未遂患者のケアニーズ ～マステリーに焦点を当てて～

○小澤 亜希絵¹、川田 美和²
¹ 兵庫県立西宮病院看護部、² 兵庫県立大学看護学部

第2日目 6月6日（日）

9:10～10:00

第3会場

第6群 自助グループ・相互性

座長：辻脇 邦彦（東都大学）

06-1 アルコール依存症者における自助グループ参加の有用性

○宮崎 真理子¹、本田 みづほ²、菅谷 智一³、森 千鶴⁴
¹ 国立精神・神経医療研究センター病院、² 国立国際医療研究センター国府台病院、³ 筑波大学医学医療系、⁴ 東京医療学院大学

06-2 自助グループに参加していないアルコール依存症者の体験 —アルコール専門外来に通院している患者の語

りから—

○比嘉 理恵美¹、鈴木 啓子²、鬼頭 和子²

¹ 独立行政法人国立病院機構琉球病院、² 名桜大学人間健康学部大学院看護学研究科

06-3 精神科女性閉鎖病棟における患者の相互交流 —支え合いに焦点を当てて—

○村上 恵

土浦協同病院

06-4 精神疾患を有する方と医療従事者の中で生じるバウンダリーの経験の言語化—WRAP ファシリテーターの対話による有益な知見の検討—

○野津 春枝^{1,2}、石井 まい子³

¹ 医療法人菅野愛生会緑ヶ丘病院、² 山形県立保健医療大学客員研究員、³ ZebraJapan 株式会社

9:10~10:00

第4会場

第7群 看護職員のメンタルヘルス

座長：三木 明子（関西医科大学）

07-1 精神科看護師のストレングス志向の特徴

○田端 一成¹、菅谷 智一²、森 千鶴³

¹ 茨城県立こころの医療センター、² 筑波大学医学医療系、³ 東京医療学院大学

07-2 精神科看護師の精神の健康問題と Presenteeism の関連性

○田伏 美穂、岡田 佳詠

国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科

07-3 精神科熟練看護師が実践する「安楽」なケア

○小高 恵実¹、佐居 由美²、安藤 和美³

¹ 上智大学総合人間科学部看護学科、² 聖路加国際大学、³ 神奈川県立こども医療センター

07-4 COVID-19 最前線で働く医療者へのメンタルヘルス支援が齎す効果

○田中 直^{1,2,3}

¹ 昭和大学横浜市北部病院リエゾンチーム、² 昭和大学横浜市北部病院看護部精神科専門看護師、³ 昭和大学横浜市北部病院救急センター

9:10~10:00

第5会場

第8群 ヤングケアラー・看護学生

座長：小山 達也（聖路加国際大学大学院博士後期課程）

08-1 イギリスの実際から考える日本のヤングケアラー支援

○安部 夏音^{1,2}、安保 寛明¹、高谷 新¹

¹ 山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科、² 山形県病院事業局

08-2 日本のヤングケアラーの実態と生活上の課題に関する文献検討 —学校教員の視点を中心に—

○遠藤 駿^{1,2}、安保 寛明¹

¹ 山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科、² 宮城県立こども病院

08-3 看護学生における精神障害者のイメージの変化

○田中 智也^{1,2}、安保 寛明¹

¹ 山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科、² 社会医療法人二本松会山形さくら町病院

08-4 精神疾患の母親をもつ子どものライフストーリー —4人の子どもの語りから—

○伊賀 聡子^{1,2}、横山 恵子²、森 正樹³、森田 牧子²¹城西国際大学看護学部、²埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究所看護学専修、³埼玉県立大学保健医療福祉学部共通教育科

9:10～10:00

第6会場

第9群 モデル・尺度開発

座長：松田光信（大阪市立大学）

09-1 精神科平均在院日数を対象にした時のリソース・ナース数の予測モデル

○松枝 美智子^{1,2}、増満 誠^{2,3}、中本 亮^{2,3}、宮崎 初^{2,4}、山本 智之^{2,5}、本郷 秀和⁶¹星槎大学大学院教育学研究科、²九州・沖縄高度実践看護師活動促進協議会、³福岡県立大学看護学部・大学院看護学研究科、⁴第一薬科大学看護学部、⁵くおーれ訪問看護ステーション、⁶福岡県立大学人間社会学部・大学院人間社会学研究科

09-2 統合失調症患者の退院に向けたクライシス・プラン作成にともなう看護介入の過程

○鈴木 亮^{1,2}、長谷川 雅美³¹新潟県立看護大学大学院看護学研究科、²国立病院機構さいがた医療センター、³新潟県立看護大学

09-3 SubstanceUseStigmaMechanismScale 日本語の版信頼性・妥当性の検討

○高野 歩¹、平岩 千明¹、及川 江利奈^{1,2}、富川 明子¹、野沢 恭介^{1,3}¹東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科、²国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科、³東京大学大学院医学系研究科

09-4 Self-EfficacyinSeekingMentalHealthCare 日本語版の因子的妥当性の検討

○野沢 恭介^{1,2}、高野 歩²、平岩 千明²、及川 江利奈^{2,3}、富川 明子²¹東京大学大学院医学系研究科、²東京医科歯科大学大学院保健衛生学研究科、³国際医療福祉大学小田原保健医療学部看護学科

10:40～11:30

第3会場

第10群 当事者との協働

座長：香月 富士日（名古屋市立大学）

010-1 ピアサポーターとともに行う WRAP クラスの意味 ～医療観察法病棟 WRAP クラス参加者へのインタビューから～

○瀧ノ上 恵¹、寺下 修¹、村山 直子¹、小島 直也¹、柳澤 節子²、松本 佳子³¹埼玉県立精神医療センター、²大東文科大学東松山キャンパス、³日本赤十字看護大学さいたま看護学部

010-2 地域で生活しながら就労継続支援 B 型を利用する精神障がい者の施設の有用性の認識

○安藤 満代、栗原 はるか

第一薬科大学看護学部看護学科

010-3 メンタルヘルス領域におけるピアサポーターとの協働にむけた専門職者の経験

○濱田 由紀

東京女子医科大学看護学部

010-4 精神保健医療福祉の支援者となった統合失調症患者のきょうだいの体験

○木村 諭志、横山 恵子、森田 牧子

10:40～11:30

第4会場

第11群 ワークエンゲイジメント

座長：畦地 博子（高知県立大学）

- 011-1 精神科看護師の仕事に対するやりがいを構成する因子間の関係
○有光 沙織¹、森本 妙子²
¹医療法人おくら会芸西病院、²高知大学教育研究部医療学系看護学部門
- 011-2 精神科看護師における職場環境仕事継続意向との関係：ワーク・エンゲイジメントの媒介効果
○向畑 毅¹、グライナー 智恵子²、藤本 浩一¹
¹兵庫医療大学看護学部看護学科、²神戸大学大学院保健学研究科看護学領域
- 011-3 精神看護専門看護師における役割獲得の経験に関する考察
○小澤 千咲
国際医療福祉大学大学院保健医療学専攻看護学分野
- 011-4 精神科看護師におけるワーク・エンゲイジメントと自己効力感、レジエンスおよび精神障害者に対するスティグマとの関連
○香川 昭夫¹、山本 明弘²
¹独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター、²和歌山県立医科大学保健看護学部

10:40～11:30

第5会場

第12群 様々なアプローチ

座長：吉野 淳一（日本医療大学）

- 012-1 新型コロナウイルス感染症流行により臨地における精神看護学実習の代替となった学内実習のための模擬電子カルテ事例の作成
○桐山 啓一郎、矢吹 明子、松井 陽子
朝日大学保健医療学部看護学科
- 012-2 精神科ベテラン看護師に対するリカバリー志向を目指す学習支援を検討する—精神保健福祉の変化の中での看護師の体験の考察から—
○多田羅 光美
香川県立保健医療大学保健医療学部看護学科
- 012-3 精神科看護師の看護カンファレンスへの思い —民間の精神科病院に勤務する中堅看護師の語りから—（第2報）
○瀧 麻由子¹、出口 禎子²
¹北里大学病院看護部、²東京医療学院大学保健医療学部看護学科
- 012-4 『オキナワへいこう』上映会 活動報告
○青山 光¹、阿部 友季子²、高橋 栄³、鈴木 健悟⁴、安保 寛明⁵
¹社会医療法人二本松会山形さくら町病院、²山形市基幹型地域包括支援センター、³山形市福祉推進部長寿支援課、⁴山形市社会福祉協議会障がい者相談支援センター、⁵山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科

10:40～11:30

第6会場

第13群 援助者の支援

座長：畠山 卓也（駒澤学園駒沢女子大学）

- O13-1 教育担当看護師がプロセスレコードによる臨床看護場面の教育を行う際の教育支援行動の特徴
○大江 健^{1,2}、安保 寛明³
¹山形県立保健医療大学保健医療学研究科保健医療学専攻、²山形県立こころの医療センター、³山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科
- O13-2 精神科病院において患者から暴力を受けた際に、報告ができなかった看護師の思い
○中島 甫、守村 洋、伊東 健太郎
札幌市立大学大学院看護学研究科
- O13-3 精神科病院に入院した自殺企図患者の家族の思い
○高橋 正樹¹、守村 洋²、伊東 健太郎²
¹札幌市立大学大学院看護学研究科、²札幌市立大学看護学科

一般演題（示説）

第14群 COVID-19

- P14-1 COVID-19 感染対策下での実習指導についての現状（第1報）～指導に携わった病棟看護師のアンケート調査より～
○茅根 寛子、渡辺 純一、佐藤 圭一、長谷川 陽子
公益財団法人井之頭病院
- P14-2 COVID-19 感染対策下での実習指導についての現状（第2報）～指導に携わった病棟看護師のアンケート調査より～
○渡辺 純一、茅根 寛子、佐藤 圭一、長谷川 陽子
公益財団法人井之頭病院
- P14-3 COVID-19 の感染拡大に伴う緊急事態宣言下における高校生・大学生の不安抑うつ傾向とインターネット依存の関連
○玉田 聡史¹、片山 典子²
¹湘南医療大学保健医療学部看護学科、²湘南医療大学大学院保健医療学研究科保健医療学専攻
- P14-4 COVID-19 による緊急事態宣言発令時の看護師の集中ケア負担率とバーンアウト発生者数の予測
○中井 寿雄¹、長山 豊¹、中井 有里²
¹金沢医科大学看護学部、²金沢医科大学病院
- P14-5 新型コロナウイルス感染拡大防止対策下における A 大学看護学生の精神看護学実習による精神障がい者等への認識の変化
○中嶋 秀明¹、中村 博文²、阿部 準子³、渡辺 尚子¹
¹東邦大学健康科学部看護学科、²茨城県立医療大学保健医療学部、³茨城県立医療大学大学院保健医療学研究科博士前期課程

第15群 地域移行支援

- P15-1 精神科長期入院患者に対するクリニカルパスを用いた退院移行支援の効果 ～文献検討～
○猪狩 明日香¹、齋藤 嘉宏²、森 雄太³
¹福岡国際医療福祉大学看護学部看護学科、²西九州大学看護学部看護学科、³帝京大学福岡医療技術学部看護学科
- P15-2 長期入院精神障害者の地域移行を推進させた公立病院の取り組み ―制度からみた地域連携方法―
○村上 満子
公立大学法人名城大学人間健康学部看護学科
- P15-3 措置入院者への多職種への支援に関する文献検討
○阿保 真由美
神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部看護学科
- P15-4 精神科病院のない離島における精神科訪問看護師による在宅医療推進のための医療・保健・福祉施設との支援体制作りと連携
○久松 美佐子¹、山下 亜矢子¹、荒井 春生²、末永 真由美³
¹鹿児島大学医学部保健学科、²京都光華女子大学健康科学部看護学科、³笹貫訪問看護ステーション愛の街

第16群 精神保健福祉

- P16-1 地域で生活する統合失調症患者の Resilience 概念に基づく自己を支える資源
○中村 博文¹、渡辺 尚子²
¹茨城県立医療大学保健医療学部看護学科、²東邦大学健康科学部看護学科
- P16-2 過疎地域における精神障害者の課題と支援に関する文献検討
○伊東 健太郎
札幌市立大学看護学部
- P16-3 看護における「孤独感」に関する文献検討
○中井 理賀、片岡 三佳
三重大学大学院医学系研究科看護学専攻

第17群 訪問看護

- P17-1 訪問看護で認知行動療法の技法とシートを用いて協同的取り組んだ一事例
○富樫 剛清^{1,2}、岩本 美晴³、中野 眞樹子^{1,2}
¹笑む笑む訪問看護ステーション、²就労移行支援事業所 DreamUp、³当事者
- P17-2 単独での精神科訪問看護に伴う感情体験の消化に慣れるプロセスに関する研究
○森 真喜子¹、森田 牧子²、安保 寛明³、嶋津 多恵子¹
¹国立看護大学校看護学部看護学科、²埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科、³山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科
- P17-3 入退院を繰り返す統合失調症患者への訪問看護師による再発兆候の見極めから地域生活を継続していくための支援
○大迫 加奈、吉川 隆博、萩野 夏子

東海大学大学院健康科学研究科看護学専攻

- P17-4 精神科看護師が精神科病棟看護から精神科訪問看護に軸足を移すプロセスに関する研究
 ○森田 牧子¹、森 真喜子²、安保 寛明³、嶋津 多恵子²
¹ 埼玉県立大学保健医療福祉学部看護学科、² 国立看護大学校看護学部看護学科、³ 山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科
- P17-5 精神科訪問看護に従事する専門職者が実施する暴力予防策の変化 2020 年度調査と 2012 年度調査の比較
 ○藤本 浩一¹、グライナー 智恵子²、向畑 毅¹、橋本 健志³
¹ 兵庫医療大学看護学部、² 神戸大学大学院保健学研究科看護学領域、³ 神戸大学大学院保健学研究科リハビリテーション科学領域

第 18 群 リカバリー

- P18-1 精神障害者のリカバリーに関する論文における評価指標についての文献的検討
 ○鈴木 龍生、安保 寛明
 山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科
- P18-2 精神科病棟入院中の患者へのリカバリー志向プログラム「IPPO」の実践と評価
 ○黒髪 恵¹、西原 玲²、河野 さつき²、池田 静子²、松尾 真裕子²、吉田 哲也²、原田 康平²
¹ 福岡大学医学部看護学科、² 福岡大学病院
- P18-3 WellnessRecoveryActionPlan クラス参加者におけるリカバリーのための工夫
 ○矢山 壮¹、藤田 茂治²、的場 圭³、村尾 眞治⁴
¹ 関西医科大学看護学部・看護学研究科、² 訪問看護ステーションりすたーと、³ 関西医科大学看護学部、⁴ 訪問看護ステーション Reaf くるめ
- P18-4 統合失調症者のリカバリーと自己概念、自尊感情の関係
 ○尾形 佑香¹、菅谷 智一²、森 千鶴³
¹ 筑波大学大学院人間総合科学研究科看護学専攻、² 筑波大学医学医療系、³ 東京医療学院大学
- P18-5 精神科領域における PersonalMedicine に関する文献検討
 ○西田 祐紀、片岡 三佳
 三重大学大学院医学系研究科

第 19 群 当事者・ピア

- P19-1 精神科病院に長期入院する患者へ地域移行支援を行うピアサポーターの支援についての認識
 ○野澤 由美、清水 智嘉、三澤 みのり
 山梨県立大学看護学部
- P19-2 ト라우マにより生きにくさを抱えている方を支援するピアサポーターの体験
 ○加藤 隆子¹、渡辺 尚子²、渡辺 純一³、齋藤 直美⁴
¹ 千葉県立保健医療大学健康科学部看護学科、² 東邦大学健康科学部看護学科、³ 公益財団法人井之頭病院、⁴ 医療法人社団翠会成増厚生病院
- P19-3 日本における特定の精神障がいに限定していないセルフヘルプグループの活動分布の実態
 ○長山 豊、中井 寿雄
 金沢医科大学看護学部

第20群 身体合併症

- P20-1 がんを合併した統合失調症患者の看取りの変化要因
○荒井 春生¹、久松 美佐子²
¹ 京都光華女子大学健康科学部看護学科、² 鹿児島大学医学部保健学科
- P20-2 看護師職能団体論文における身体合併症看護についての文献レビュー
○木村 玲、樋口 日出子
公立大学法人岩手県立大学看護学部
- P20-3 病棟助産師が早期発見しうる産褥精神病の特徴 ―文献的検討
○木村 涼子
東北大学大学院医学系研究科医科学専攻精神神経学分野博士課程
- P20-4 身体疾患を抱えて生きる患者の精神的ケアを構築するためのライフストーリー法に焦点を当てた文献レビュー
○大江 祐介^{1,2}、佐藤 大輔³、安保 寛明¹
¹ 山形県立保健医療大学大学院保健医療学研究科、² 山形県立中央病院、³ 社会医療法人二本松会山形さくら町病院
- P20-5 1型糖尿病患者の緊急事態宣言における感情の変化に関する研究 ～マイクロブログによるテキストマイニング分析～
○陶山 克洋¹、片山 典子²
¹ 湘南医療大学保健医療学部看護学科、² 湘南医療大学大学院保健医療学研究科・保健医療学部看護学科

第21群 看護教育・看護学生

- P21-1 実習指導者との協同による“臨地にいるような”学内版看護学実習への取り組み
○平上 久美子、澤田 由美、山岡 八千代
姫路獨教大学看護学部看護学科
- P21-2 精神看護学実習の受け持ち患者が看護学生への支援者役割を遂行するプロセス
○夫 博美
大阪信愛学院短期大学
- P21-3 看護学生の社会人基礎力に影響を与える看護教育の関わりの実際についての文献検討
○千 英樹¹、上本 孝子²
¹ 東京医療保健大学和歌山看護学部看護学科、² 和歌山県立医科大学附属病院
- P21-4 看護学生を対象とした脳活動の調査手法の検討 ―被災者の脳に与える災害の長期的影響に関する研究の予備調査―
○木村 涼平¹、緒方 浩志²、上田 智之²、増満 誠³、森 雄太⁴
¹ 日本赤十字九州国際看護大学看護学部看護学科、² 九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科、³ 福岡県立大学看護学部看護学科、⁴ 帝京大学福岡医療技術学部看護学科
- P21-5 リフレクティング面接の実践者を育成する教育プログラム参加者の体験
○大川 貴子¹、安保 寛明²、田村 達弥¹、吾妻 陽子¹、三澤 文紀³
¹ 福島県立医科大学看護学部、² 山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科、³ 福島県立医科大学総合科学教育研究センター
- P21-6 看護学生を対象とした自律神経系活性の調査方法の検討 ―被災者の自律神経系活性に与える災害の長期

的影響に関する研究の予備調査—

○緒方 浩志¹、木村 涼平²、上田 智之¹、増満 誠³、森 雄太⁴

¹九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科、²日本赤十字九州国際看護大学看護学部看護学科、³福岡県立大学看護学部看護学科、⁴帝京大学医療技術学部看護学科

第22群 看護職員のメンタルヘルス

P22-1 精神看護専門看護師が精神科病院で果たす役割についての文献検討

○千葉 祐紀^{1,4}、佐藤 大輔²、安保 寛明³

¹山形県立保健医療大学保健医療学研究科保健医療学専攻、²社会医療法人二本松会山形さくら町病院、³山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科、⁴宮城県立精神医療センター

P22-2 「精神科看護師の患者に対する感情と感情調整能力の関連」

○工藤 あずさ¹、菅谷 智一²、森 千鶴³

¹筑波大学大学院人間総合科学研究群看護科学学位プログラム、²筑波大学医学医療系、³東京医療学院大学

P22-3 患者と信頼関係を築く精神科看護師の関わりに関する文献検討

○蔵本 綾¹、長尾 みゆき²、渡邊 久美¹

¹香川大学医学部看護学科、²元香川大学医学部附属病院看護部

P22-4 精神科看護師の倫理的行動に関連する国内外の研究の動向

○熊崎 靖子¹、桐山 啓一郎²、片岡 三佳¹

¹三重大学大学院医学研究科看護学専攻、²朝日大学保健医療学部看護学科

P22-5 開放病棟における認知症患者を受け入れる看護師の思い

○松尾 綾、戸丸 友里恵

医療法人社団天紀会こころのホスピタル町田

P22-6 精神科病棟の看護師による患者理解のためのかわりについて

○石田 絵美子

兵庫医療大学看護学部精神看護学

第23群 ワークエンゲイジメント

P23-1 看護職者のワークエンゲイジメントと看護師長のリーダーシップとの関係

○高谷 新¹、安保 寛明¹、佐藤 大輔²、新宮 洋之³

¹山形県立保健医療大学保健医療学部看護学科、²社会医療法人二本松会山形さくら町病院、³いちまる訪問看護ステーション

P23-2 精神科看護師の職務継続意思評価尺度の開発における予備調査 —職務満足とバーンアウト傾向との関連—

○山口 恭平¹、上田 智之²、下條、三和¹、木村 涼平³、坂本 貴子¹、緒方 浩志²、森 雄太¹

¹帝京大学福岡医療技術学部看護学科、²九州看護福祉大学、³日本赤十字九州国際看護大学

第24群 様々なアプローチ

- P24-1 アルコール依存症患者に対応する看護師の援助要請態度と関連要因の検討
○宮本 翔平、後藤 成人
大分県立看護科学大学看護学部看護学科精神看護学研究室
- P24-2 刑事精神鑑定に関与する看護師のゆらぎと対処
○兒玉 善明¹、戸田 由美子²、山田 浩雅²
¹愛知県立大学大学院看護学研究科博士前期課程、²愛知県立大学看護学部
- P24-3 介護福祉職員における「健康いきいき職場」の構造モデル —施設介護職員・訪問介護職員別の多母集団同時分析—
○美濃 陽介
秀明大学看護学部精神看護学
- P24-4 A 県における措置入院患者への退院後支援に関する課題
○川村 道子、木添 茂子
宮崎県立看護大学
- P24-5 ベンゾジアゼピン系睡眠薬服用中の認知症患者に対する看護実践の明確化
○岩本 祐一¹、藤野 成美²、古野 貴臣²、藤本 裕二²、脇崎 裕子³、鎌田 ゆき⁴、村田 愛⁵
¹大分大学医学部看護学科、²佐賀大学医学部看護学科、³佐賀大学大学院医学系研究科、⁴日本赤十字九州国際看護大学、⁵純真学園大学看護学科



実践の質向上委員会

天野 敏江

(国際医療福祉大学成田看護学部)

実践の質向上委員会では、コロナ過で開催延期となっておりましたが、日本認知療法認知行動療法学会と本学会共催の認知療法・認知行動療法研修会を、2021年3月27・28日にオンラインで開催いたしました。本研修会は認知療法・認知行動療法の算定に係る施設基準を満たす研修会であり、講師には、日本認知療法認知行動療法学会から理事長の大野裕先生はじめ4名の先生がご協力くださいました。

研修会には100名の定員にも関わらず短期間で定員を超えるご応募があり、認知行動療法に対するニーズの高さを感じました。研修は、講義とブレイクアウトセッションによるグループワークで構成され、認知行動療法の基本的な知識と技術を学ぶ内容です。参加者の6割以上が臨床の方で、それぞれの講義の度に、実践に即した質問が多数チャットに寄せられ、参加者の方々の熱意が伝わって参りました。

終了後のアンケートでは、研修内容は「とてもわかりやすかった」86.9%、「わかりやすかった」13.1%、今後の臨床での実践に「大いに役立ちそう」81%、「役立ちそう」19%、自由記述には「全体的に網羅され、講師の皆さまのお話もとても分かりやすくとても学び深かったです。全てが印象に残る研修内容でした」、「単なる心に寄り添うのではないプロとしての治療なので、研鑽が必要なので今後も取り組んでいきます」、「専門領域の質の高い講義と学びができ、また久しぶりにロールプレイなどが行えて、年度末非常に忙しく疲弊気味だったのですが、元気ができました!!」等の肯定的なご意見を多数いただき、多くの方に有意義な研修会になったことが伺われました。

実践の質向上委員会が終了し、100名のオンライン研修会を大きなトラブルなく終えることができました。運営に参加させていただき大変勉強になりました。ご参加・ご協力くださいました皆様に心よりお礼申し上げます。



理事会報告

総務委員会 岡本 典子
(常葉大学)

昨年度 10 月、12 月、2 月に WEB 会議および書面決議にて理事会を行いました。理事会では、COVID-19 による研究・教育活動への影響に対応するため、2020 年度研究助成者の 6 か月の助成期間を延長すること、実践の質向上委員会主催の研修会を WEB で開催することなどを決めました。

また、昨年度 1 月から 2 月にわたり、第 4 期代議員選挙と第 5 期役員選挙が行われました。選挙結果につきましては、総会にて報告いたします。

■ 2021 年度 第 1 回および第 2 回代議員会

今年度第 1 回および第 2 回の代議員会を以下の通り開催いたします。

第 1 回 代議員会 (第 3 期代議員)

日 時：2021 年 6 月 4 日 (金) 17 時～18 時 (WEB 会議)

第 2 回 代議員会 (第 4 期代議員)

日 時：2021 年 6 月 4 日 (金) 19 時～20 時 (WEB 会議)

代議員の皆様には、学会マイページに登録されたメールアドレスにご案内を送付致します。

■ 2021 年度 総会について

今年度の総会は、6 月 5 日 (土) 17 時 10 分～18 時 00 分まで、WEB にて行います。学術集会 HP より入ることができますので、ぜひご参加ください。

■ 会費納入について

2021 年度年会費の請求書がお手元に届いていると思いますので、お支払いの手続きをお願いいたします。なお、退会をご希望の場合は、当該年次の会費をお支払い頂いた上で、マイページより退会届を送信下さいますようお願い致します。

■ マイページへの登録・登録情報の更新のお願い

本学会の活動、他学会・団体からの情報などをメールにて発信しております。ぜひ、マイページにメールアドレスをご登録ください。また所属が変わられた方など、登録内容に変更が生じた場合には、更新をしてくださいますようよろしくお願いいたします。毎年、宛先不明のために請求書をお送りできない方が、数十名いらっしゃいます。2 年間会費の納入がない場合には、自動退会となってしまいますので、ご注意ください。

ニュースレター原稿募集

学会では、学会員の主催する精神保健看護関連の活動を支援し、また、より広く交流を図れるよう、ニュースレターに掲載する原稿を広く募集しております。

皆様が主催される様々な精神保健看護関連の活動について、ニュースレターでの広報をご希望の際には、その活動内容、主催者（お名前とご所属）、開催場所・日時、参加方法、連絡先に関する原稿をお寄せください。

また、現在の精神保健医療や看護に関するご意見や問題提起、あるいは学会員の方々と共有したい情報などもお寄せいただければ幸いです。広報・情報委員会で検討させていただき、ニュースレターに掲載したいと考えています。皆様からのご連絡をお待ちしております。

*News
letter*

編集後記

●ハイブリッド形式で開催予定だった第31回学術集会が、COVID-19感染拡大の状況を鑑みてオンライン開催へと変更されました。さまざまな事態を想定して準備を進めてこられた大会長の安保先生はじめ実行委員会の皆様のご苦勞は計り知れないものがあると感じます。大変お忙しい中にも関わらず、学術集会関連の原稿のご準備、本当にありがとうございました。改めてお礼申し上げます。

●今や当たり前となりつつある、オンライン診察、面会、会議、授業、飲み会……。タイムリーな情報発信を可能とするオンライン。ニュースレターもオンライン配信で皆様にお届けしていますが、「タイムリーであったかどうか」については課題があります。現広報・情報委員会が担当するのは90号までですが、この課題をしっかりと次期委員会に引き継ぎ、会員の皆様にお役に立つ情報発信のあり方を模索していきたいと考えています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。（寺岡）

広報・情報委員会 委員長：寺岡征太郎（和洋女子大学）

委員：神澤尚利（東京医科大学） 小山達也（聖路加国際大学大学院博士後期課程）
中戸川早苗（北里大学）

（お問い合わせ先）メールアドレス：japmhn.pr@gmail.com



JAPMHN